



日本スペイン交流400周年事業プロジェクト募集

事業期間：2013年6月～2014年7月



1. 経緯

我が国とスペインは、2010年9月の日本スペイン首脳会談における合意を踏まえ、2013年から2014年にかけて、同年が慶長遣欧使節団派遣400周年に当たることから、日本及びスペインにおいて「日本スペイン交流400周年事業」(以下交流年)を開催する運びとなりました。

2. 目的

交流年においては、文化事業に加え、政治、経済、科学技術、観光、教育等の幅広い分野で交流事業を実施することにより、日本とスペインとの相互理解の促進と二国間関係の新たな展望を拓く契機とすることを目的としています。

3. 実施主体

交流年事業は、官民が幅広く関与して実施するものとし、各事業には政府レベルのみならず、地方公共団体、民間企業、各種団体、一般市民等各層の幅広い参加が期待されております。このため日本・スペイン両国はそれぞれ官民の参加する実行委員会、タスクフォースなどを設置し、周年事業の実施、調整、事業認定などを行います。また、交流年の日本側名誉総裁に皇太子殿下が、スペイン側名誉総裁にフェリペ皇太子殿下がそれぞれ御就任になることが決まっています。

4. 開催時期

2013年6月から2014年7月まで。

5. ガイドライン

- 日本・スペイン国民の相互理解を促進する事業(文化紹介事業等)
- 両国関係を支える基盤の拡大に寄与する事業(市民レベルの交流等)
- 両国間の交流の深化及び協力分野の拡大に資する事業(各種団体・機関間の交流、知的・経済交流等)

6. 事務局

現地タスクフォース事務局(在スペイン 日本国大使館)

慶長遣欧使節団

1613年(慶長18年)仙台藩主伊達政宗(1567-1636)は、大御所(前征夷大將軍)徳川家康(1542-1616)の許可を得て、スペインに向け支倉常長(1570-1621)を大使とする使節を派遣しました(慶長遣欧使節団)。同使節団は、日本人として初めて太平洋と大西洋を横断し、1614年(慶長19年)にスペインに到着し国王フェリペ3世への謁見を果たしています。支倉はスペインにおいて洗礼を受けてキリスト教徒となり、その後、ローマを訪問し教皇パウロ5世への謁見も果たしました。本使節団の目的は、当時スペイン領であったメキシコとの通商関係の樹立等であつたとされており、本使節団の派遣はスペインに対する日本からの最初の公式な使節団の派遣であり、日西関係の端緒となる重要な出来事として歴史に刻まれています。



お問い合わせ先・参加旅行企画見積

ワールドイベントリンク株式会社

大阪府中央区平野町2丁目5-14-602A

☎06-6226-8750 Fax06-6226-8751 email: hamada@we-link.co.jp